

ミュージアムコラム

2020年3月16日、着物類2,519点を含む「武庫川女子大学近代衣生活資料」(9,092点)が国の登録有形民俗文化財になっています。附属総合ミュージアムでは1年を通して、季節ごとに様々なテーマで資料をピックアップし、1階ロビーにて展示をおこなっています。

2024年度春季企画

よそお 「春」を装う

2024年3月18日(月)~5月31日(金)

寒さの厳しい冬が過ぎ、暖かい陽射しが差し込む春の訪れは、気分を晴れやかにしてくれます。新学期・新生活のはじまりを迎え、心持ち新たにすることも多いのではないのでしょうか。

着物の意匠にも「春」が感じられるものが多くあります。たとえば、桜や牡丹、堇、藤などの様々な花、また軽やかに舞い飛ぶ蝶などが、長着や帯といった衣装を彩ります。これらの春らしい着物は、着るだけでなく、意匠を眺めているだけでも、明るい気持ちにさせてくれます。

このたびの春季企画では、まるで「春」そのものを装うような春らしい着物を展示します。はじまりの季節、華やかな着物を身に纏い、どこにお出かけしようか・・・そんなことに思いを馳せながら、麗らかな春のひとときをお過ごしいただければ幸いです。



1. 桜楽器文様中振袖 (昭和戦後期)



1. 桜楽器文様中振袖

淡い紫色の雲取りには大胆に麻の葉文様が施され、そこに桜の花と枝葉があらわされています。またところどころに横笛が配され、横笛に附属している房のついた紐が、全体に柔らかな曲線を描いています。桜や横笛といった伝統的なモチーフを用いながら、曲線を描く紐の表現は近代の着物にみられる特徴といえます。すべて染めであらわされており、桜の花の輪郭に金色が用いられていたり、桜や横笛の上に細かい金箔が散らされているため、華やかな印象を受けます。

麻の葉文様は、古来より多用されてきた文様のひとつです。文様の名称は近世に付けられたもので、麻の葉は丈夫なことから、子どもや女性の着物の柄によく用いられてきました。また横笛をはじめとする楽器のモチーフは、優雅な王朝文化を連想させたり、極楽浄土に響く妙なる音をあらわすことが

多く、この着物においては桜を愛でる雅な宴を連想することができるでしょう。(並木)



2. 木蓮文様袷長着（昭和戦後期）



2. 木蓮文様袷長着

生成り色の絹地に、モクレン、シダ植物、楓の葉を織り出しています。植物は立体的に見せるため、灰色や白色の濃淡の異なる糸を用いて陰影を表現しています。モクレンの花は、桃色や紫色などの光沢のある糸で織られていますが、その背後にあるシダの葉の一部にもそれと同じ糸が用いられており、日光に照らされて影を落とす様子が表されています。

モクレンは早春に花をつける落葉高木で、新葉が芽吹く前に枝から上向きに直立して開花します。花びらの形は蓮に似ており、紅紫色の花をつけるシモクレン（紫木蓮）と白色の花をつけるハクモクレン（白木蓮）があります。漢字では「木蓮」と書きますが、香りが蘭にも似ているため「木蘭」とも呼ばれます。単にモクレンといえばシモクレンを指しますが、花の色が高貴なため、古代中国では庭木にする際、皇帝の許可が必要とされていました。その優雅な花姿と甘い香りは、古くから詩や俳句の題材として

でも人気があり、その美しさは白居易の詩の中でも称えられています。本資料に表された木蓮も、春の訪れを感じさせる優美な花姿をしています。（平）

3. 花びら文様袷長着（昭和戦後期）



4. 蝶文様名古屋帯（昭和期）

5. 薔薇文様帯揚げ（昭和期）

「花びら文様袷長着」は、紗綾形文様が施された生成り色の地に赤色や紺色など様々な色に染められた桜の花びらがあらかわされています。裾のあたりは密集し、腰のあたりから肩や袖にかけてはゆったりと散らされている花びらは、まるで地面に落ちた花びらが風に煽られ、舞い上がっているようです。金色・銀色の花びらには箔が用いられ、アクセントになっています。

「蝶文様名古屋帯」は、金糸と銀糸であらかわされた数匹の蝶が優雅に舞っている意匠です。地は鹿の子絞り風ですが、全て織りで表現されています。「花びら文様袷長着」とあわせると、舞い上がる桜の花びらの間を蝶が飛んでいるようにも感じられるでしょう。

帯揚げは、実際に着用するとその模様はほとんど見えなくなりますが、広げてみると様々な模様が施されています。「薔薇文様帯揚げ」は、可憐に花を咲かせる赤い薔薇と、そろそろ花を咲かせそうな青い薔薇のつぼみが染めで表現されます。また地紋には、撫子や桔梗があらかわされています。

ここでは、長着・帯・帯揚げ・帯締めをひとつのコーディネートとして捉え、展示をおこないました。ぜひ実際に着ている姿を思い浮かべてみてください。（並木）



- 3. 花びら文様袷長着
- 4. 蝶文様名古屋帯
- 5. 薔薇文様帯揚げ

次回の展示は、6月頃からを予定しています